

は じ め に

テンポの速い社会経済の変化や科学技術の進展は、環境保健の分野に限って見ても、極く身近かなものから地球規模のものまで、多くの行政課題を生み、いま、それらへの対応が求められています。

このような中において、当研究所は、新潟県の環境保健行政の推進上必要な調査研究を行う役割りを担い、業務の多様化にも適応しながら、行政施策の立案や行政上の判断の裏付けとなる各種のデータ・情報の作成とその提供に努めています。

この年報は、貝類による食中毒様下痢症の原因に関する調査研究や有機塩素系溶剤の環境中における動態及び分解性に関する調査研究などを含む昭和62年度1年間の活動状況をとりとまとめたものです。

もとより、限られた条件下での活動であり、とりまとめですから、不十分な点もあることと思いますが、御高覧をいただき、種々御指摘、御指導をいただければ幸甚に存じます。

昭和 63 年 10 月

新潟県衛生公害研究所長 上 村 桂